

平成29年度第4回下関市公立大学法人評価委員会議事【要旨】

平成29年8月9日(水)10:00~11:30

下関市立大学本館 5階 大会議室

下関市公立大学法人評価委員会

: 前田委員長、江里委員、藤上委員、佐藤委員、佐伯委員、事務局

公立大学法人下関市立大学

: 荻野理事長、川波学長、高橋学部長、事務局長、法人事務局

1. 開会

2. 議事

(1) 「中間実績報告書(平成25年度~平成28年度)」に係る中間評価について

=ヒアリング= (前回の続き)

委員長 4カ年を経て、中期計画で数値目標を掲げているものについて、低すぎた、高すぎたと考える項目はあるか。

理事長 数値目標については、第1期の実績、他大学の状況を踏まえるなどして設定したが、概ね適切であったと考えている。

委員 科研費の採択は大学の質の評価につながるファクターだと思う。申請していない3割の教員に対して、法人として何らかの対応を明確にすべきと考える。科研費に採択された人には研究費を上積みするなど、そういうことを是非ともやってもらいたい。
また、受託研究が無い状況は、産官学の連携がうまくいっているとは言えないということにつながる。数が多ければいいというものでもないが、1つか2つはあるのが当然かと思うので、今後は是非実施していただくことを期待する。

学長 科研費については、学内で研修会を行っている。昨年も、他大学で比較的大きな科研をとっている先生に、申請の際に気をつけていることという内容で講演をしていただいた。ただ、出席率が高くなかったということがあった。今年も予定しているが、学内で科研を取得している人を中心にノウハウ、ポイントを講演していただくように企画している。

委員ご指摘のインセンティブ、または申請しない人へのペナルティ的なものについては、考えていきたい。申請していない人は大体固定されているので、個別に促していきたい。重要な課題と考えている。

事務局長 受託研究については、行政は、市大だから選ぶということではなく、プロポーザルを

して選んでいく。現状、民間のほうがプロポーザルに対する対応力があるので、市大で実施したほうが低いコストでこれだけの効果が上げられるという、できる体力、能力をつけていきたいと考えている。

委員 市立大学なので、市の課題に真摯に対応するというのが義務だろうと思う。しっかりやってもらいたい。

委員 留学の話だが、ここは幸い韓国との航路があり、日帰りでも外国を体験できる。そういう特殊な体験が、学生にとって非常に大きなものを生むのではないかと思う。以前、APU に視察に行ったときに、日本人生徒は必ず韓国に 1 週間行かせると聞いた。韓国の留学生にサポートはしてもらうが、危ない地域にだけ行ったら駄目だという程度で、その他は一切手出ししない、それが APU の日本人学生の国際化の起点になっているという話であった。市大は市大でできることをすれば良いと思うし、それが短時間であっても、外国での体験というのが若いときには非常に大きな影響を与えることになる。また、国際商学科という名前が少し古くなってきたのかなという気もする。例えばグローバルビジネス学科などとし、その中で言語に力を入れているというのが一つの吸引力になってくるかもしれないので、今後そういったところも検討してもらいたい。

委員長 「8 割以上の学生が 4 年で卒業できるように支援」という目標についてだが、就職が決まらず、来年もう一回就職活動をしたい学生や、大学院受験を失敗して、来年また受けるが、もう一回しっかり勉強して卒業したい学生もいるだろう。また、勉学意欲を全く喪失したような学生に甘い単位を出して無理に卒業させると、こんな卒業生がいるんだなという印象を与え、かえってマイナスにつながるということになるので、必ずしも 100% が目標ではなくても良いかと思うがいかがか。

学長 キャリアセンターで要因をつかむようにしているが、問題意識を持った上での留年の比率は必ずしも高くない。100%とは言わないが、そんなに高なくて良いのではということについては、慎重に考えたい。

委員 年々学生の質も高まってきており、卒業生の就職先も良い企業が増えている。それは大学の努力ということもあると思う。しかし残念ながら、学生の質は高まったけれども、ハラスメントがこの 10 年間で複数おきている。ここを是正するため、人格識見の高い先生が入ってくるための入口の部分をしっかりやってもらえれば、さらに良い大学として良い方向に行くのではないかと思う。そこに今後力を注いでほしいと願っている。

委員長

委員会として中間評価結果を決定したいと思う。中間実績報告書や過年度の委員会審議、評価結果書も踏まえて、「中期計画を概ね順調に実施している」という評価が妥当であると思うが、委員の皆さんはいかがか。(異議なし)

(2) 第3期中期目標・計画の策定に係る「評価委員会意見書(案)」について

評価委員会意見書(案)について、事務局から説明を行い、事務局案を一部修正のうえ承認され、評価委員会意見書として決定した。

(3) その他(第3期中期目標・計画の策定に係る今後のスケジュールについて)

事務局

第3期中期目標・計画の策定に係る今後のスケジュールについて説明する。

まず、本日決定いただいた「評価委員会意見書」については、評価委員会から法人及び下関市にそれぞれ通知する。この通知を受けた法人及び下関市は、「評価委員会意見書」の内容を踏まえたうえで、第3期中期目標・計画の策定に着手する。

中期目標については、来年、平成30年7、8月頃になるが、評価委員会の意見を聴くとともに、議会の議決を経たうえで平成30年9月中に策定の予定である。また、中期計画については、市からの指示を受けて法人が作成し、平成30年12月を目途に評価委員会の意見を聴くとともに、市長の認可を受けたうえで策定する予定である。

= 本日の審議終了 =

— 閉会 —